

TMRセンターによる作業効率化、粗飼料の品質向上を実現

～国産飼料の安定供給による酪農経営の安定化～

北海道

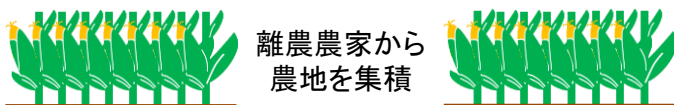
飼料

- ・酪農家9戸が共同でTMRセンターを設立し、粗飼料生産の外部化を行うことで、労働負担の低減と高品質な飼料生産を実現。
- ・良質な粗飼料生産による安定した生産量の確保で、経営の安定を図る。

①地域の現状

- ・離農が進み農地が集約化されつつあるが、労働力不足により、各農家における飼料生産作業が負担
- ・良質な飼料生産のためには、草地と飼料用とうもろこしの輪作など、管理・更新を適切に行う必要

集約化した土地に対する労働力が不足



土地が集まってくるけど、
人手が足りなくて大変
TMRセンターがあれば...



②取組内容・目標

- ・粗飼料生産の労働負担が軽減され、搾乳に充てられる時間が増加
- ・計画的な草地更新により、粗飼料品質が向上

TMRセンター(新設)
(作業面積 約700ha)



バンカーサイロ整備、作業機械導入等
(施設整備・機械導入事業)
目標: 飼料作付面積の拡大、国産飼料の給与割合の向上等 (R4→R10)

収穫・調整に係る
作業の委託

良質飼料の供給

構成酪農家

③目指す地域の姿

- ・飼料の安定供給により、気候や収穫状況に左右されない酪農経営が実現
- ・労働負担の軽減等により、新規就農しやすい環境を作る
- ・飼料を広域販売をすることで、センターの経営が安定化するとともに、他地域における国産飼料の利用も促進

